

主の聖名を讃美いたします。

三寒四温を実感するこの頃、地区総会が次々に開催されました。今号は各地区総会の報告と、昨年10月にサバ神学院を訪問された河野久美子姉の報告をお届けいたします。4月には拡大会長会を開催いたします。各教会からの様々な声を聴きたいと思います。よい交流と話し合いの時となりますよう祈りつつお持ちしています。

### 地区総会開催



熊本地区総会：健軍教会

熊本地区女性会総会が2月15日(土)健軍教会にて開催されました。九州教区女性会会員324名のうち、半数の155名が熊本地区で占められています。教区で、最大の地区ですね。それだけに、活動、会費などしっかりしています。阿蘇山荘の清掃や、夏の中高生キャンプ支援、地区での集会、会長会も開催されています。それぞれの活動に積極的に関わっておられることが、よくわかりました。会員が多いとはいえ、ここも高齢化の波もある

ようです。が、熊本市の連合の婦人会の活動もあり、やはりアクティブですね。

出席、山本、財津。



筑後地区総会：日田教会

筑後地区女性会総会は2月28(金)日田教会にて開催されました。筑後地区は、甘木、田主丸、久留米、大牟田、日田の5教会の集まりです。会員数は少ないですが、家庭的な雰囲気のある地区です。毎年、夏に平和礼拝がもたれます。総会では、次年度の活動の希望とか、召天者を忘れないようにしよう、とかの意見がありました。総会后、近





くのグループ・ラムの工房を見学させて頂きました。ここで作られているポップコーンをお土産にと購入しました。とても美味しかったです。出席、岩切、山本。

← グループ・ラムの廣田氏より  
説明を聞く筑後地区の姉妹

北九州地区婦人会総会が、3月6日（木）八幡教会にて開催されました。門司、小倉、八幡、直方の4教会で会員数は17名の少人数の地区です。しかしだからこそ、地区の結びつきは強いように思います。共同バザーをはじめ、1つの教会ではできないことも地区で支え合っていると自負しています。そして今回は初めて地区総会に出席した姉妹が3名おられ、たいへん嬉しいことでした。顔を合わせて話すこと、食事を共にすること、共に祈ること、の喜びを感じた総会でした。出席 岩切

もう一つ、北九州地区では嬉しいことがありました。2月26日永吉穂高牧師（小倉教会、直方教会）御夫妻に第2子「風人（ふうと）くん」が誕生しました。2940gの男の子、幸姉共にお元気とのこと。おめでとうございます。健やかな成長をお祈りいたします。

（文責 岩切旻世）

#### サバ神学院（STS）創立25周年記念招待による訪問 ー音楽会 卒業式 感謝会 ー

河野久美子（室園教会）

2013年10月24日～26日にわたってサバ神学院創立25周年記念行事に女性会連盟へ招待があり、希望者10名が参加しました。過去にサバ訪問の経験を持つ人と初めての人が半々でしたが、それぞれ感動と感謝の訪問となりました。

私は1999年と、2004年の訪問団に参加させていただき、今回3回目のサバ神学院の訪問でしたが、その発展ぶりには驚きと敬意をかくしきれませんでした。

新しい大きなホールで行われた卒業式では68名に卒業証書、修了証書が授与されました。日本の大学でいう修士卒、学士卒の方から家族支援修了者、楽齡者コース修了者の方々まで皆すがすがしく誇らしい姿でした。高齢で段上に上がれない楽齡者には院長が彼らの席まで降りてきて修了証書を授けられる姿に私たちは感動しました。





### 新しいホールでの卒業式

「日本の女性会連盟が20年にわたってサバ神学院（STS）の神学生に奨学金の支援をしてくださったことに敬意と感謝を申し上げます。」から始まりBCCMの歴史と現在を熱く語られました。数年前に計画されていた牧師、宣教師、信徒の増強のビジョンがすでに実現されている様子には私は驚嘆しました。

その中でも「教会は神の宣教のためにあり、宣教がさまざまな教会の働きを展開します。あなたがたもこの神の働きに参加しておられるのです。」とプロジェクターで示しながら熱心に語られ、「これからもどうか神学生のサポートをお願いします」と加えられました。



### 女性会連盟の姉妹とかつての奨学神学生と共に

したばかりの卒業生中国系代表でスピーチをした季さんにお祝いを言ったりで私たちの周りは大賑わいでした。

私たち女性会連盟が20年間支援した神学生は60名で、卒業後は英語系、中国語系、マレー語系の教会でほとんどが牧師として働いておられるとのことでした。

サバ神学院はバーゼルクリスチャン教会マレーシア（BCCM）の重要な働きの一つであり、イスラム教が優遇されるマレーシアではBCCMはたえず緊張を強いられています。私たちは卒業式の前にBCCMのビショップ チャン師の話を聴くことができました。

卒業式のあと会場にきていたかつて奨学神学生だった人たちが私たちのところへ来て挨拶をしてくださいましたのでみなで写真をとりました。その中には1988年にサバ神学院院長と共に九州を除く各教区を訪問してくださった当時3年生のイエン氏（現在BCCMペナムパン教会の牧師）が夫人と共に来てくださったり、

「私たち夫婦になりました」と紹介されたチャン夫妻と会ったり、卒業



神学生の卒業を祝うのは関係者のみならず学生の家族も参加しており、小さい子供の姿もあり 1000 人入る大ホールは家族的な雰囲気もある卒業式でした。

プログラムはすべて中国語、英語、マレー語で進められ、それだけに時間はかかりましたがすばらしい進行ぶりで、コーラスやダンスそしてピアノの弾き語りもあり最後まで楽しみました。STS の学生は初期のころから家族持ちの人がいましたから、その家族のための寮や教育プログラムがあります。その事にも力がそそがれているようでした。



卒業生とかつての奨学神学生

私たち 10 名はケンピン師ご夫妻のまことに行き届いた配慮と、教会関係者のおもてなしをいただきましたが、訪問団としては学習と準備をもっとしておくべきではなかったかと思いました。私たちは最後の日に話しあい、理解を補いあい、連盟が 20 年つづけたサバ神学院学生支援の意味、これから将来にわたって何ができるかと、短い時間でしたけれども意見交換ができたのは有意義だったとおもいます。

日本福音ルーテル教会 100 周年大会のおり「さあ出て行こう」と旗がふられ、グロー

バルな宣教へと女性会連盟はサバ神学院神学生支援にあるき始めました。それから 20 年経ちましたが、はじめの目標の 10 年を達成してからは連盟の情熱が薄らいできました。年間 500 円の支援でさえ止めましょうという声が聞こえてくるようになり、前回の総会では投票のわずかの差で継続が決まり現在に至っています。どうしてでしょう？連盟の宣教の働きは今のところサバ神学生支援が唯一です。私たち連盟は宣教についてもはっきりとした具体的なビジョンを持たなければならないでしょう。奨学金の支援だけではなく、人的な交流（こども、青年、神学院学生、成人、聖職者など）を行い、それによって気づきや学習がありあります。神が世界を愛しておられ、購いのわざを進めておられることを実感できるのではないのでしょうか。

女性会連盟が独自にもうけている唯一つの宣教支援「サバ神学院神学生支援」に、神様の祝福と御導きがありますよう祈ります。

最後に、サバ神学院第 25 周年記念卒業式に出席させていただき、こどもが成長して、いい青年になった姿を見るような喜びで胸いっぱいになりました。

正に「成長させてくださるのは神である」です！！      ありがとうございました。